

(6) 東海



東海地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す
(は上方に変更、 は下方に変更)

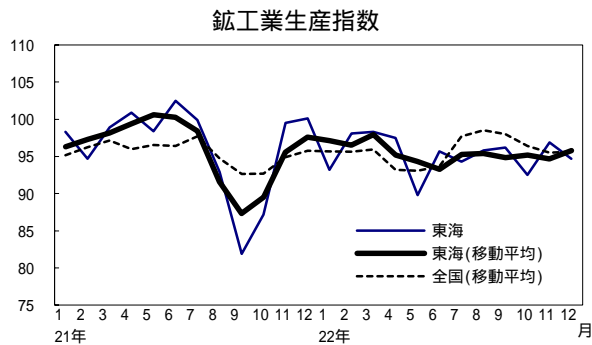
前回からの主要変更点

	前回(令和4年11月)	今回(令和5年3月)	
鉱工業生産	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しの動きに足踏みがみられる。

10 - 12月期の鉱工業生産は、「電子デバイス、電気・情報通信」が減少したこと等により、前期比0.8%減となった。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東海の最新月は速報値。
2. 全国及び東海の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。
3. 東海は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7 - 9 月期	10 - 12 月期	10月	11月	12月
輸送機械	40.1	1.2	1.3	6.8	10.9	2.4
電子デバイス、電気・情報通信	13.3	1.2	4.1	6.4	5.5	2.4
石油・石炭、化学、プラスチック	13.0	0.5	3.0	1.9	0.3	1.4
乳・生産、業務用機械	11.2	5.7	1.5	2.8	3.8	3.5
鉄鋼業、鉄合金、金属製品	6.4	0.3	0.2	2.4	3.4	4.3
鉱工業	100.0	1.2	0.8	3.8	4.8	2.3

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
2. 10 - 12月期、12月は速報値。
3. 業種は内閣府にて分類。

2. 個人消費の動向

個人消費は緩やかに持ち直している。

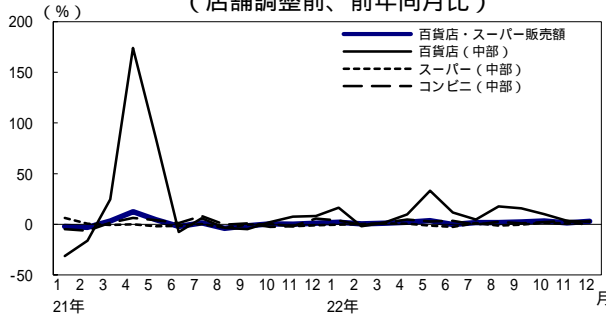
(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

10 - 12月期は前期比0.3%増となった。月別にみると、10月は前月比0.1%増、11月は同1.4%減、12月は同1.7%増となった。

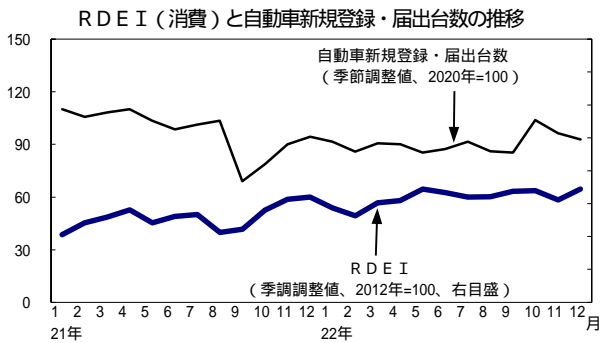
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、10 - 12月期は前年同期比2.6%増となった。月別にみると、10月は前年同月比3.2%増、11月は同1.3%増、12月は同3.1%増となった。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2022年10月	12月	2022年10月	11月	12月
RDEI(消費*1)	0.3	0.1	0.1	1.4	1.7
百貨店・スーパー(*2)	2.6	3.2	3.2	1.3	3.1
百貨店(*3)	4.9	10.2	10.2	3.6	2.4
スーパー(*3)	2.0	1.5	1.5	1.0	3.2
コンビニ(*3)	1.4	2.3	2.3	3.4	1.3
乗用車(*4)	9.8	28.9	28.9	6.0	1.2
(季節調整値)(*4)	11.4	21.6	21.6	7.2	3.8



(備考) 1. 季節調整前(前期(月)比)(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%) 最新月は速報値

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比)(%)

3. 雇用情勢

雇用情勢は持ち直している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期と同水準となっている。

